



キャンパス外から利用可能な
電子ジャーナルと
データベースについて

茨城大学図書館工学部分館

まずはこちらをご覧ください

図書館ホームページ → 資料や情報を探す
<http://www.lib.ibaraki.ac.jp/search/>

茨城大学図書館のホームページに、大学で利用できる電子ジャーナル、電子ブックとデータベースを一覧にしてまとめたページがあります。それぞれのコンテンツの簡単な説明と、**キャンパス外からの利用方法について記載してあります（キャンパス外から利用可能なもののみ）**。

電子ジャーナル・電子ブックとは

- 電子ジャーナル

→ Webブラウザ上で学術雑誌の論文を閲覧できる

- 電子ブック

→ Webブラウザ上で図書を閲覧できる
(学術書、専門書、英語多読本など)

電子ジャーナルにも電子ブックにも様々な業者があり、大学は毎年相当なお金を払って、その業者が保有するコンテンツへのアクセス権を購入しています。



データベースとは

何らかの目的にもとづいてデータを集め、整理して検索できるようにしたサービスで、それぞれのデータベースの特性に応じて、

- 論文を探すための検索ツール
- 必要なデータを参照するための、辞書的なツール

として使用します。



何を閲覧できる？

何を調べられる？

- 電子ジャーナルやデータベースは、それぞれ特徴やカバーしている範囲があります。説明をよく読んで、それがどのようなコンテンツなのかを理解して使うことが必要です。
- 電子ジャーナルは、その提供業者が権利を保有している雑誌論文しか閲覧することはできません。A社の電子ジャーナルサイトならA社が権利を保有している分の論文しか閲覧できません。
- データベースは、どういう目的で何を検索するために設計されているのかを理解しないと、適切な検索はできません。

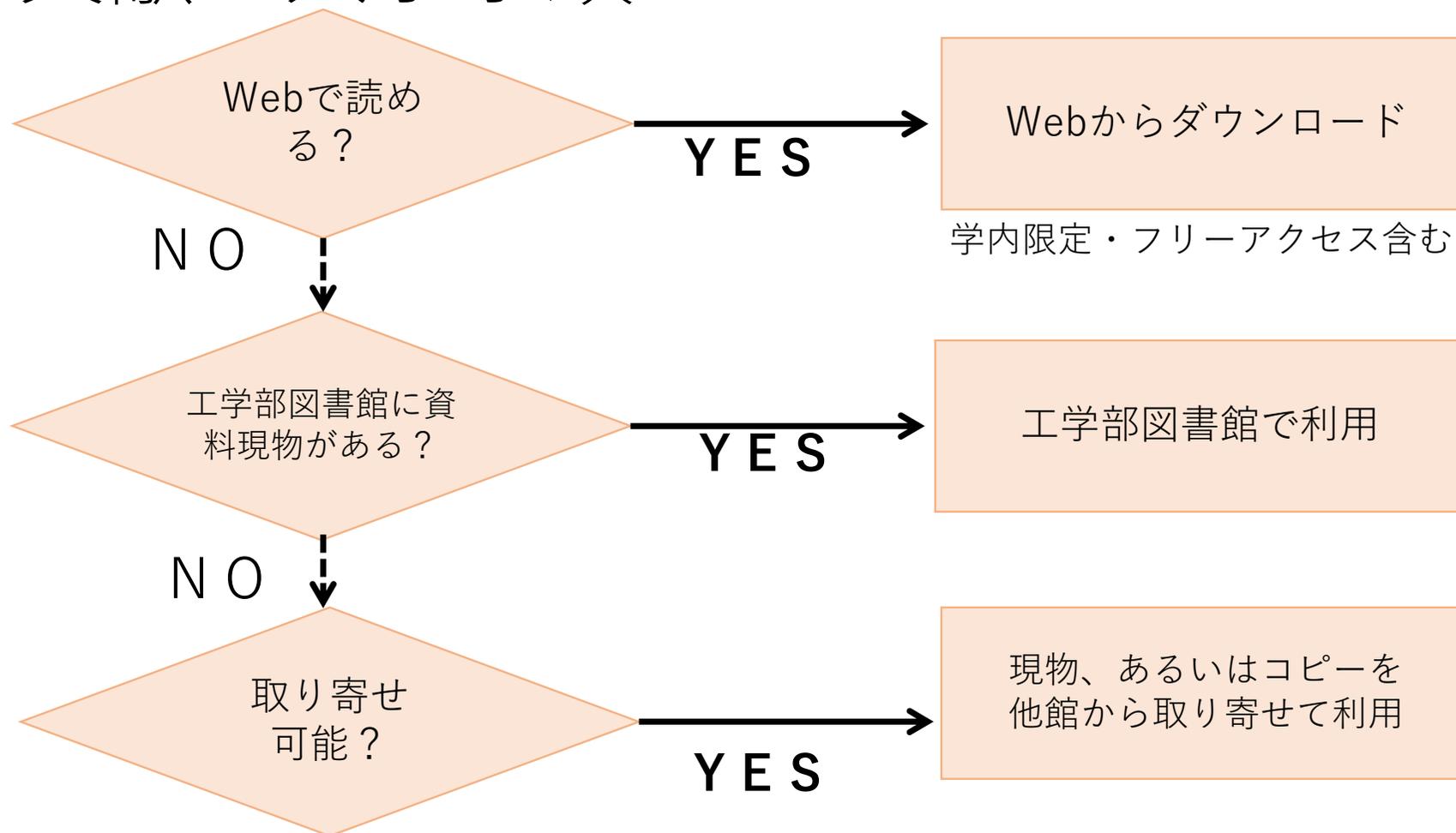
アクセス・ 利用の可否

- 電子ジャーナルもデータベースも、商用コンテンツとして販売されているものもあれば、無料で利用可能なように公開されているものもあり、千差万別。
- 誰でも無料で利用可能なものは、世界中どこからアクセスしても利用できます。
- 商業ベースで提供されているものは、それを契約している機関内または契約機関の登録ユーザしかアクセスできません。

リモート アクセス

- 商用の電子ジャーナルやデータベースについて、キャンパス内からしかアクセスできないと研究上不便なので、コンテンツによってはキャンパス外からのアクセスを認めているものもあります。これをリモートアクセスといいます。
- 具体的なリモートアクセスの仕方はそれぞれの業者によって異なりますので、最初に紹介した図書館ホームページで確認して下さい。
→「資料や情報を探す」
<http://www.lib.ibaraki.ac.jp/search/>

文献の入手手順



(補足)
文献を取り
寄せる

- Web上でも利用できない、図書館にも冊子現物がない文献を、他大学から取り寄せることができるようになっています (ILLサービス)。
- まずは、図書館ホームページ右側の「My Library」をクリックして、普段大学で使っているユーザID (@の前の部分のみを入力) とパスワードでログイン。



1. My Libraryをクリック

2. Webサービス→文献複写・貸借依頼をクリック



必要事項を
入力して
申込！

- 論文コピーの取り寄せ → 「新規複写依頼」
- 図書現物の取り寄せ → 「新規貸借依頼」
- 取り寄せたい文献に関する詳細な情報を入力します。
- 取り寄せに関する条件も入力してください。
(白黒・カラー、速達便・普通便)
- 公費（研究室予算）での取り寄せの場合は、
「連絡事項」欄に記入。

お問い合わせ

お問い合わせは、図書館工学部分館まで、お急ぎの場合は情報支援担当（水戸）までご連絡ください。

問合せ連絡先一覧

<http://www.lib.ibaraki.ac.jp/access/>

図書館工学部分館
電話 0294-38-5012

